



## 日本美術サウンドアーカイヴ 2018年1月7日～4月14日 資料展

本展覧会は日本美術サウンドアーカイヴが2018年1月7日から4月14日までに開催した企画の関連資料（録音、写真、リーフレット、機材、参考資料他）、発表した制作物（レコード、カセットエディション）を展示します。

### 日本美術サウンドアーカイヴ

日本にはこれまでに、美術館や画廊、アトリエや公共空間でさまざまな音を鳴り響かせてきた美術家がいる。しかし、ほとんどの音は鳴り止んでしまえば、再び聞くことがかなわなかった。視覚資料を中心とする美術史のなかで、音をめぐる情報はどうしても断片的なままに留まってしまう。日本美術サウンドアーカイヴはこうした美術家たちによる参照しにくい過去の音にアクセスしようとするプロジェクトである。

作家や関係者へのインタビュー、文献調査、作家が所有する録音などを通じて、過去の作品にまつわる情報を収集し、整理する。そして、作品の再制作や再演を作家に依頼し、もしくは自分たちの手で行い、展覧会、イベント、レコードなどのかたちで発表していく。このような活動を通じて、日本美術における音の意義を検討し、その可能性を開くための基盤をつくりだしたい。

日本美術における過去の音について考えようとするとき、現代の私たちはたくさんの問い合わせに出会う。それは各時代の美術の動向のなかでいかに位置づけられたのか。音楽をはじめとする同時代の他の芸術といかに結びつき、区別されたのか。同時代の聴覚文化や視覚文化といかに関わってきたのか。これらの問い合わせ前にした人が、まず音に向きあうことから探求をはじめられるようにすることは、このプロジェクトの大きな目的のひとつである。

2018年6月25日(月)～6月29日(金) 12:00 - 19:30

東京藝術大学上野キャンパス大学会館2階 展示室

### トークイベント

2018年6月25日(月) 18:00-19:30

東京藝術大学上野キャンパス大学会館2F展示室 入場無料

出演 畠中実、金子智太郎 ゲスト 平倉圭（横浜国立大学准教授）

日本美術サウンドアーカイヴ

<https://tomotarokaneko.com/projects/jasa/> tomotarokaneko@gmail.com

2017年10月 金子智太郎 畠中実

## 展示作品記録

1. 堀浩哉《MEMORY-PRACTICE (Reading-Affair)》1977/2018年 映像
2. 稲憲一郎《record》1973/2018年 録音
3. 稲憲一郎《staying/walking》1972/2018年 カセットテープ
4. 高見澤文雄《柵を越えた羊の数》1974/2018年 録音・カセットテープ
5. 野村仁《音調、強度、時間を意識して、レコード（糸）を操作する》1973/2018年 映像
6. 渡辺哲也《CLIMAX…No.1》1973/2018年 録音
7. 和田守弘《認識に於ける方法序説 No. I SELF・MUSICAL》1973/2018年 録音
8. 和田守弘《認識からの方法序説No.III MR. NOBODY 言葉の中のモニュメント》1973/2018年 カセットテープ
9. Great White Light 1971/2018年 レコード

### 堀浩哉《MEMORY-PRACTICE (Reading-Affair)》上映スケジュール

6月25日	6月26日	6月27日	6月28日	6月29日
15:00	15:00	15:00	15:00	15:00
17:00	18:30	18:30	18:30	17:00

上映時間 33分

## トークイベント出演者 略歴

### 平倉圭

1977年生まれ。芸術学。横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授。芸術制作における知覚と行為の働きを研究している。著書に『ゴダールの方法』（インスクリプト、第二回表象文化論学会賞受賞）、『アメリカン・アヴァンガルド・ムーヴィ』（共著、森話社）ほか。

### 畠中実

1968年生まれ。NTTインターミュニケーション・センター [ICC] 主任芸員。多摩美術大学美術学部芸術学科卒業。1996年の開館準備よりICCに携わる。近年の企画に「アート+コム／ライゾマティクスリサーチ 光と動きのポエティクス／ストラクチャー」（2017年）、作家の個展企画に大友良英（2014年）、ジョン・ウッド&ポール・ハリソン（2015年）など。ほか美術および音楽批評。

### 金子智太郎

1976年生まれ。美学、聴覚文化論。非常勤講師。最近の仕事に論文「環境芸術以後の日本美術における音響技術——一九七〇年代前半の美共闘世代を中心」（『表象』12号、2018）、「一九七〇年代の日本における生録文化——録音の技法と楽しみ」（『カリスタ』23号、2017）ほか。



1



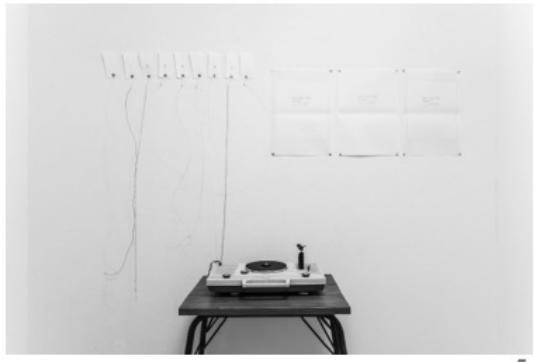
2



3



4



5



6



6



7



8

写真 藤島亮